

## 平成25年度 福島県の発電所周辺環境モニタリング計画

## 1 方針

今年度は、原子力発電所周辺の環境放射能の監視測定範囲を拡大し、これまでの10km圏内から30km圏内まで及び計画的避難区域（平成23年4月22日設定時）内を調査対象地域とします。

## 2 測定項目

## (1) 空間放射線

No.	測定項目	地点数	頻度	備考
1	空間線量率	32	連続	13地点追加*1
2	空間積算線量	50	3ヵ月積算	35地点追加*2

\*1 発電所から10km圏外、30km圏内から地点を選定し、準備でき次第測定を開始。

\*2 発電所から10km圏外、30km圏内、飯舘村及び川俣町山木屋地区から地点を選定し、準備でき次第測定を開始。

## (2) 環境試料

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	地点数	頻度	備考
1	降下物	降下物	雨水ちり	ガンマ線放出核種濃度	15	12回/年	
2	大気	大気浮遊じん	地表上約3m又は約1m	全アルファ放射能 全ベータ放射能	13	連続	※発電所から10km圏外、30km圏内の8地点を追加
				ガンマ線放出核種濃度	22	12回/年	
3	陸土	陸土	表土(0~5cm)	ガンマ線放出核種濃度	14	2回/年	※1 ・飯舘村及び川俣町山木屋地区から2地点を追加 ※2 ・項目にアメリカシウムとキュリウムを追加
				ストロンチウム-89濃度		1回/年	
				ストロンチウム-90濃度			
				プルトニウム放射能濃度			
				アメリカシウム-241濃度			
				キュリウム-244濃度			
4	陸水	上水	蛇口水	ガンマ線放出核種濃度	13	4回/年	※発電所から10km圏外、30km圏内、飯舘村及び川俣町山木屋地区から7地点追加
				トリチウム濃度			
				ストロンチウム-90濃度	13	1回/年	
				プルトニウム放射能濃度			

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	地点数	頻度	備考	
5	海水	海水 (第一原発周辺)	表面水	ガンマ線放出核種濃度	2	4回/年	※平成25年度から調査再開  ※平成25年7月からモニタリング強化	
				トリチウム濃度	6	9回/年		
				ストロンチウム-90濃度	2	1回/年		
				プルトニウム放射能濃度	6	9回/年		
		海水 (第二原発周辺)	表面水	ガンマ線放出核種濃度	2	4回/年		※平成25年度から調査再開
				トリチウム濃度				
				ストロンチウム-90濃度	2	1回/年		
				プルトニウム放射能濃度				
6	海底沈積物	海底沈積物 (第一原発周辺)	海砂 または 海底土	ガンマ線放出核種濃度	2 ↓ 6	4回/年	※平成25年度から調査再開  ※平成25年7月からモニタリング強化	
				ストロンチウム-90濃度		1回/年		
				プルトニウム放射能濃度		2回/年		
		海底沈積物 (第二原発周辺)	海砂 または 海底土	ガンマ線放出核種濃度	2	4回/年		※平成25年度から調査再開
				ストロンチウム-90濃度		1回/年		
				プルトニウム放射能濃度				
7	指標植物	松葉	葉	ガンマ線放出核種濃度	14	4回/年	※発電所から10km圏外、30km圏内、飯舘村及び川俣町山木屋地区から7地点追加	